



2026年5月8日

各 位

会社名 株式会社日本アクア
(コード1429：東証プライム市場)
住 所 東京都港区港南2-16-2
代表者 代表取締役社長 中村文隆
問合せ先 経営企画部長 小室昌彦
(TEL 03 - 5463 - 1117)

現下の中東情勢が当社の事業及び業績に与える影響について

現下の中東情勢の変化を受け、当社の事業及び業績に与える影響につきまして、現時点で把握している状況を以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の事業活動への直接的な影響について

当社中核事業である断熱施工で使用するウレタン原料は石油製品を主原料としており、原油市況の変動により原材料価格や供給動向に影響が生じる可能性があります。

しかしながら、当社は2017年度のウレタン原料（MDI）供給逼迫、2020年度の発泡剤（HFO）供給制約など、過去の供給混乱局面を通じて調達基盤の強化を進めてまいりました。現在では、海外複数サプライヤーとの直接取引による分散調達体制に加え、全国26拠点の在庫ネットワークを構築しており、安定供給体制を確立しております。加えて、当社は国内最大級の現場発泡ウレタン断熱材取扱量を有しており、スケールメリットを活かした調達優位性を確立しております。

足元では一部原材料価格の上昇が見られるものの、当社の事業運営および業績は安定的に推移しており、現時点で重要な影響は生じておりません。

2. 間接的な影響について

原材料価格上昇や供給制約を背景に、業界内では値上げや施工制限等の動きが顕在化しております。特に、ナフサ不足の影響により、一部のウレタン原料メーカーでは原料製造に支障が生じており、供給不安が拡大しております。

一方、当社は、海外複数サプライヤーとの直接取引、全国在庫ネットワーク、国内最大級の取扱量を背景とした調達優位性等の強みを活かし、現時点において原料不足は発生しておらず、安定供給体制を維持しております。こうした環境下において、当社には指定業者変更や、ボード断

熱から現場発泡ウレタン断熱への仕様変更に関する引き合いが大幅に増加しております。加えて、施工案件のみならず、原料そのものの供給要請も急増しており、大型産業施設案件を中心に需給逼迫の影響が顕在化しております。

また、マンション分野においても、安定供給力や施工対応力に対する評価が高まっております。リノベーションマンション分野では、全国規模の大手事業者において、従前より検討されていたボード断熱材からアクアフォームシリーズへの切り替えが進んでおり、当社施工を標準仕様として採用する動きが進展しております。

このように、現在の市場環境は、安定供給体制と全国施工ネットワークを有する当社にとって、シェア拡大および受注機会拡大につながる大きな事業機会となっております。

3. 対応方針と今後の見通し

当社は、原材料の安定調達および供給体制強化を最重要課題と位置づけ、調達先のさらなる多様化、在庫戦略の高度化、物流体制の強化を推進しております。加えて、施工体制の強化、人員拡充、認定施工店ネットワークの拡大を通じて、拡大する需要への対応力強化を進めております。

足元では原材料価格上昇が見られるものの、当社は高い調達競争力と適切な価格戦略を背景に、収益性の維持・向上を図る体制を構築しております。

また、現在の需給環境は、当社の安定供給力、全国施工ネットワーク、施工品質に対する評価を一段と高める局面となっております。特に、指定業者変更、断熱仕様変更、原料供給要請の増加に加え、リノベーションマンション分野における標準仕様採用の拡大など、中長期的なシェア拡大につながる動きが顕在化しております。

当社は今後も、外部環境変化への対応と成長機会の取り込みを両立し、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

なお、今後の中東情勢や原材料市況の動向を注視しつつ、業績予想の修正その他開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

4. 留意事項

本資料に記載されている将来の見通し等は、本資料発表日現在において入手可能な情報および一定の前提に基づき当社が判断したものであり、今後の中東情勢の変化、原材料市況の動向、その他の不確実な要因により、実際の業績等はこれらと大きく異なる可能性があります。

以 上